

豊岡商工会議所 中期行動計画

(令和6年度～令和10年度)

令和6年3月

豊岡商工会議所

豊岡商工会議所中期行動計画策定にあたって

長引くコロナ禍を乗り越え、社会経済活動の正常化が進みつつありますが、物流における2024年問題、エネルギー・原材料価格の高騰や人手不足による受注機会の損失、物価高や賃上げによるコストアップについて十分な価格転嫁が行えないなど、地域経済を支える中小企業にとって、経営課題は山積みしています。

このようななか、豊岡商工会議所は、会員事業者や地域経済の振興発展に向け、社会・経済の変化に対応した商工会議所として、求められる役割を、しっかり果たしていくことが求められています。

このため、豊岡商工会議所では、地域総合経済団体として、会員・市民・地域に信頼され誇りとされる存在となるよう、将来を見据えた明確な活動方針と、具体的かつ戦略的なアクションプランを新たに定め、会員と共に、地域と共に、課題解決に向けた諸活動を加速・強化することとしました。

本計画は、豊岡商工会議所が策定した初めての中期行動計画ですが、この計画が絵に描いた餅とならぬよう、計画に定めた評価指標をもとに、随時かつ定期的に評価・検証を行い、必要に応じた見直しも進めながら、この5年の間、本計画に基づく実効ある取り組みを、体系的・計画的に展開し「真に会員・地域に必要とされる豊岡商工会議所」を創っていく所存です。

令和6年3月

豊岡商工会議所

会頭 岡本 慎二

I. 豊岡商工会議所のビジョン(将来像)

①現状・課題

地域・社会・企業

人口・生産年齢人口減少、少子高齢化、人材・労働力・後継者不足、経営コスト増、など

豊岡商工会議所

存在意義の確立、支援体制の評価・評判等の改善、財政基盤の脆弱性の軽減・強化 など



②めざすべき方向

会員・豊岡市民・地域に信頼され誇りとされる商工会議所の創造

③めざすべき姿

- ・支援を必要とする会員に必要な支援が行き渡っている
- ・地域に人が住み、地元の商工活動が、地域の人たちの豊かで安心な暮らし・生活を継続的に支えている
- ・会議所への入会を通じて会員の経営力・持続力が高められ、併せて地域へ貢献できている

【II. 中期行動計画を実現する為の活動の基本方針】

地域経済団体としての総合力を発揮し、“会員と共に、地域と共に” 元気な豊岡を創る

【III. アクションプラン】

1. 企業や事業者の新たな可能性を創る

中小企業、小規模事業者が発展していくために必要となる丁寧で寄り添った経営支援の実施を第一に心掛け、事業を営む上で必要不可欠な存在となるように事業者に伴走して行きます。

アクションプラン

(1) 経営全般への支援と社会的課題に対する取り組みを後押し

- ① 伴走型支援によって、企業規模に応じた経営全般への相談に迅速かつ丁寧な対応
- ② 年間を通じた体系的なセミナー開催による、経営者や従業員のビジネス能力の向上
- ③ SDGsなどの社会的課題に対し、その取り組みに向けての必要な情報提供を行い、背中を後押し

(2) 会員間取引の開拓と国内外に向けた販路拡大を応援

- ① 広報媒体を活用した会員間での取引開拓及び拡充を目的とする取り組みの推進
- ② 国内外に向けて地場商品やサービスの発信を行う機会を設け、販路拡大を応援

(3) 他機関との関係による創業や事業承継へのサポートを強化

- ① 行政機関などと提携した創業相談機能強化の実施
- ② 事業承継支援機関を通じた、事業承継個別相談会の開催
- ③ 金融機関と連携し、親族内承継やM&Aも含めた最適な事業承継へのサポートの提供

2. 地域の未来を創る

人が住んでこそ地域社会が成り立ち、人がいてこそ企業の事業活動が成り立ちます。商工業の振興と地域社会の発展は切り離せません。「未来の地域づくり」の為の商工業に限らない(環境、医療、福祉、教育、文化など)総合的な地域活性化事業を推進します。

アクションプラン

(1) 行政機関等への意見・提言活動の強化

- ① 事業者視点の地域課題・ニーズの把握・集約力の強化
- ② 会員事業所のニーズを反映した行政機関等への意見・提言・政策提案の実施

(2) 枠組みに囚われない総合的な地域活性化への取り組み・CSV(共通価値の創造)の推進

- ① 商工業に限らない環境、医療、福祉、教育、文化を含めた「未来の地域づくり」への積極的な関与
- ② 「柳まつり」の継続・発展の為の開催方法・実行戦略等の変革
- ③ 行政・関連団体・教育機関等と連携した地域振興・中心市街地活性化事業の推進
- ④ 豊岡地域のCSV推進

(3) 人材と地域企業のマッチング支援の拡充

- ① 会員事業所の人材の持続的な確保に繋がる取り組みの実施
- ② 様々な立場の人が幸せに働ける職場環境づくりの支援による人・人材の定住促進
- ③ 将来を担う子どもたちに向けたキャリア教育の推進、UIターン促進・活躍人材の育成

(2)

3. 持続可能な商工会議所を創る

会員にとって必要とされる商工会議所であるために、会員満足度向上のための事業拡充に取り組みます。また、求められる役割を果たすため情報収集発信力の強化を図るとともに、職員能力の向上と財政基盤の確立を実践し、会員をサポートし続けることのできる持続可能な組織づくりに努めます。

アクションプラン

(1) 会員満足度向上に向けた取り組みの実施

- ① 全職員による新入会員加入促進活動の推進と、巡回体制の強化
- ② 会員間の情報交換・異業種交流の機会の拡充

(2) 情報収集・発信力の強化

- ① 広報媒体等を用いた情報発信力の強化と有効な広報手段についての調査・研究
- ② 全国の商工会議所ネットワークを活用した情報収集力の強化と情報提供の推進

(3) 持続可能な組織基盤の強化

- ① 「事業継続力強化計画(BCP)」の策定、健康経営の推進
- ② 職員の資質向上策の推進と商工会議所が抱える事務局機能の見直し
- ③ 財政基盤の確立と組織率向上策の実践

IV. アクションプランで達成すべき主要な評価指数

1	番号	項目	現在数値 (R6.3)	目標数値 (R11.3.31)
可能性や事業者を創る 企業や事業者を 支え、	(1)-①	巡回先事業所数	493事業所	(年間) 700事業所
	(1)-①	経営相談対応件数	795件	(年間) 1,200件
	(1)-①	補助金採択率	55%	(累計平均) 70%
	(1)-②	セミナー参加者数	269人	(累計) 1,500人
	(1)-①	BCP等計画作成支援事業所数	0事業所	(累計) 70事業所
	(1)-③	SDGs宣言等事業所数(豊岡商工会議所会員内)	35事業所	(累計) 140事業所
	(2)-②	展示会出展支援事業所数	1事業所	(累計) 25事業所
	(3)-①	創業相談・指導件数	24件	(累計) 150件
	(3)-②	事業承継相談・指導件数	6件	(累計) 60件
2	番号	項目	現在数値 (R6.3)	目標数値 (R11.3.31)
地域の未来を創る	(1)-②	行政との意見交換会実施回数	3回	(累計) 15回
	(2)-②	柳まつり来場者数	43,000人	43,000人
	(2)-②	柳まつり募金額	921,560円	1,200,000円
	(2)-③	ミナトルネサンス参加者数	660人	(年間) 800人
	(3)-①	豊岡市ワークイノベーション推進会議構成事業所数(豊岡商工会議所管内)	74事業所	(R11.3現在)100事業所
	(3)-①	但馬空港旅客数	(R6.2現在)35,385人	(年間) 48,000人
	(2)-③	豊岡演劇祭来場者数	23,647人	30,000人
	(3)-②	豊岡商工会議所議員の女性割合	1.2%	(R11.3現在) 3.0%
	3	番号	項目	現在数値 (R6.3)
持続可能な商工会議所を創る	(1)-①	組織率数値	58%	(R11.3現在) 70%
	(2)-①	HP閲覧数	47,671	(年間) 70,000
	(2)-①	メルマガ登録者数	163人	(R11.3現在) 500人
	(2)-②	ザ・ビジネスモール活用数	0回	(年間) 12回
	(3)-②	職員研修受講数	50回	(年間) 80回
	(3)-③	収益事業収入	14,800,000円※	(年間) 15,500,000円
	(3)-③	コウノトリ共済加入率	12.7%	(R11.3現在) 20%
	(3)-③	労働保険事務委託率	15.6%	(R11.3現在) 20%
	(3)-③	貸会議室利用率	13.5%	(年間) 20%

V.具体的な取り組み

1. 企業や事業者の新たな可能性を創る

中小企業、小規模事業者が発展していくために必要となる丁寧で寄り添った経営支援の実施を第一に心掛け、事業を営む上で必要不可欠な存在となれるように事業者に伴走して行きます。

(1) 経営全般への支援と社会的課題に対する取り組みを後押し

① 伴走型支援によって、企業規模に応じた経営全般への相談に迅速かつ丁寧な対応

- a. 小規模事業者持続化補助金などの補助金について、その活用に向けて提案や道標をガイド
- b. 経営分析・事業計画策定等の取り組みをサポート
- c. 小規模事業者経営改善資金貸付（日本政策金融公庫への融資推薦制度：マル経融資）の推薦を通じて、資金調達の課題に対応

② 年間を通じた体系的なセミナー開催による、経営者や従業員のビジネス能力の向上

- a. 経営者、管理職、若手社員などの対象を隔てた体系的なセミナーを開催
- b. 啓発機会を設けることにより、立場ごとのビジネス能力向上へ貢献

③ SDGsなどの社会的課題に対し、その取り組みに向けての必要な情報提供を行い、背中を後押し

- a. SDGs推進委員会を設置・運営し、「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」「ひょうご産業SDGs認証事業」などへの挑戦の1歩目を後押し
- b. ジェンダーギャップ解消、働き方改革（ワークイノベーション）、ワークライフバランスの積極的な推進
- c. DX化や2024年問題などの全国共通の社会的課題に対して、必要な情報提供の実施と解決方法の共有
- d. BCPの普及啓蒙活動の推進と策定支援

(2) 会員間取引の開拓と国内外に向けた販路拡大を支援

① 広報媒体を活用した会員間での取引開拓及び拡充を目的とする取り組みの推進

- a. 会員同士での交流増進と取引開拓を目的とした会員掲示板を会報内に掲載
- b. 会報チラシ折込サービスの活用促進により、更なる取引拡充を支援
- c. 巡回時の聴き取り等による会員間のマッチング需要の掘り起こし・会員間でのビジネスマッチングを通じた会員間の結び付き強化

② 国内外に向けて地場商品やサービスの発信を行う機会を設け、販路拡大を応援

- a. 都市部での大規模展示会などに商工会議所としてブース出展を行い、会員事業所と国内外のバイヤーとを繋ぐ機会を創出
- b. 展示会会場での他の出展者との商談などの実施も応援
- c. 「ザ・ビジネスモール」の積極的な活用推進

(3) 他機関との関係による創業や事業承継へのサポートを強化

① 行政機関などと提携した創業相談機能強化の実施

- a. 豊岡市や豊岡の士業ネットワークなどと提携している「創業・事業者支援ネットワーク」の活用により、相談体制機能を強化
- b. 創業セミナーの開催やIPPO TOYOOKAとの関係を通じて、創業に対するモチベーションアップと不安や疑問を解消

② 事業承継支援機関を通じた、事業承継個別相談会の開催

- a. 「兵庫県事業承継引継ぎ支援センター」より、専門家を招いた事業承継に関する個別相談会を開催
- b. 希望者には、引継ぎ計画書などの作成を専門家がサポート

③ 金融機関と連携した、親族内承継やM&Aも含めた最適な事業承継へのサポートの提供

- a. 「事業承継支援に関する連携協定」を締結している金融機関と事業者とを仲介
- b. M&Aによる売却マッチング先選定からや承継時の融資相談まで、金融機関も含めて対応

2. 地域の未来を創る

人が住んでこそ地域社会が成り立ち、人がいてこそ企業の事業活動が成り立ちます。商工業の振興と地域社会の発展は切り離せません。「未来の地域づくり」の為の商工業に限らない（環境、医療、福祉、教育、文化など）総合的な地域活性化事業を推進します。

(1) 行政機関等への意見・提言活動の強化

① 事業者視点の地域課題・ニーズの把握・集約力の強化

- a. 会員ニーズの把握・会員サービス向上・活動方針を策定する為の会員アンケートの実施
- b. 正副会頭・部会長会議の開催による部会や業界の経済状況等の把握
- c. 豊岡地区企業動向調査の実施
- d. 伴走型支援を通じた巡回時の聞き取り調査

② 会員事業所のニーズを反映した行政機関等への意見・提言・政策提案の実施

- a. 会員アンケートや正副会頭部会長会議・聞き取り調査等で集約したニーズ・要望等を反映させる為の但馬県民局・豊岡市役所・豊岡市議会等との意見交換会の開催
- b. 兵庫県商工会議所連合会を通じた兵庫県政に対する要望
- c. 行政と一体となった経済対策の促進

(2) 枠組みに囚われない総合的な地域活性化への取り組み・CSV(共通価値の創造)の推進

① 商工業に限らない環境、医療、福祉、教育、文化を含めた「未来の地域づくり」への積極的な関与

- a. 芸術文化観光専門職大学との連携協定に基づく地域活性化・地域課題の解決に向けた取り組みの実施
- b. 豊岡演劇祭を観光資源とした消費拡大等、地域経済への波及効果推進
- c. 医療・福祉・文化・教育関係団体等、地域に貢献している組織との連携による持続可能な地域づくりの推進
- d. 会員ネットワーク等も活用した「豊岡」の全国的なPR推進

② 「柳まつり」の継続・発展の為の開催方法・実行戦略等の変革

- a. 伝統を継承しつつ、時代の変化に対応した開催内容のアップデート
- b. 地域団体・市民等地域の協力体制の構築、関係機関（豊岡市以外）との連携協力
- c. クラウドファンディングの活用、一部外部委託、ボランティアスタッフの公募等、資金的・人的・宣伝的効果等の活用による、末永く持続可能なまつりにする為の取り組みの実施
- d. 柳まつり開催意義や価値を、会員・地域住民等に広く普及・啓発する為の取り組みの実施

③ 行政・関連団体・教育機関等と連携した地域振興・中心市街地活性化事業の推進

- a. 地場産業振興支援（地域イベント等への開催協力）
- b. 港地域の活性化事業（ミナトルネサンス）の実施
- c. ひょうごフィールドパビリオンを活用した誘客の取り組み支援
- d. 中心市街地活性化の役割も持つ「柳まつり」の継承・発展と持続的開催
- e. 豊岡復興建築群を活用した中心市街地活性化
- f. 地域課題解決のためのテーマを洗い出し、行政等も参画する委員会等を設置

④ 豊岡地域のCSV（共通価値の創造）推進

- a. 会員企業のCSV経営を応援・支援
- b. 豊岡地域の企業や団体による、地域経済の活性化と持続可能な社会の実現に向けたCSVの推進

(3) 人材と地域企業のマッチング支援の拡充

① 会員事業所の人材の持続的な確保に繋がる取り組みの実施

- a. 人材不足の課題解決・人材マッチングの為に採用力向上に資するセミナー等の開催
- b. ウェルビーイング経営の推進、会議所検診の開催
- c. 外国人材の採用・定着に関する情報提供等支援

② 様々な立場の人が幸せに働ける職場環境づくりの支援による人・人材の定住促進

- a. 多様な人材（性別、年齢、国籍、障がいの有無、学歴、経験など）の働き方支援・豊岡地域の中小企業におけるダイバーシティ・マネジメントの推進に資する情報提供・セミナー等の開催
- b. ジェンダーギャップ解消に向けた取組み支援

③ 将来を担う子どもたちに向けたキャリア教育の推進

- a. 企業の将来を担う人材の確保につなげる企業見学ツアーや地元高校生等と企業の対話事業の実施
- b. 地域の中小企業の魅力を子供達等多くの人に伝える産業振興事業の開催推進

④ UIJターン促進・活躍人材の育成

- a. 関係団体と連携したUIJターン促進に資する取り組み（情報発信の連携等）の実施
- b. 活躍人材を育成する為に、専門職大学の職員によるリスキリング教育事業の実施（中小企業大学のサテライトゼミの活用等）
- c. ITや経営、マーケティングなど、さまざまな分野のスキルアップやキャリアアップに活用可能な支援制度の周知（中小機構のサテライトゼミ等）

3. 持続可能な商工会議所を創る

会員にとって必要とされる商工会議所であるために、会員満足度向上のための事業拡充に取り組みます。また、求められる役割を果たすため情報収集発信力の強化を図るとともに、職員能力の向上と財政基盤の確立を実践し、会員をサポートし続けることのできる持続可能な組織づくりに努めます。

(1) 会員満足度向上に向けた取り組みの実施

① 全職員による新入会員加入促進活動の推進と、巡回体制の強化

- a. 商工会議所活用マニュアル（ガイドンス）の作成及び活用
- b. 既存会員との接触の機会を増やすための巡回強化、会議所サービス活用の後押し
- c. 新入会員への会議所サービス案内と活用等の積極的な働きかけを実施
- d. 非会員事業所をリスト化し、対象を絞った加入促進活動を展開

② 会員間の情報交換・異業種交流の機会を拡充

- a. 会員交流会の開催（目的・対象を絞った開催、会員活躍の機会創出）
- b. 会員限定事業の拡充（会員・非会員の差別化）
- c. 会員間の情報交換を目的とした会議所HPの活用

(2) 情報収集・発信力の強化

① 広報媒体等を用いた情報発信力の強化と有効な広報手段についての調査・研究

- a. 会報・HP・メルマガ等の内容充実
各種補助金の周知、解説、活用事例紹介等の情報発信により、会員事業所の補助金活用を後押し
- b. SNS発信やマスコミ掲載拡大への働きかけによる情報発信力の強化

- c. 会員アンケート・景気動向調査等の実施と回答率向上への取組強化
- d. 会員ニーズ調査を踏まえた最新の情報発信ツールの研究と効果的な活用

② 全国の商工会議所ネットワークを活用した情報収集力の強化と情報提供を推進

- a. 日本商工会議所が実施するLOBO調査等データを定期的に発信
- b. 全国の商工会議所の会員事業所における優良取り組み事例などを情報提供
- c. 商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」の周知と活用を推進

(3) 持続可能な組織基盤の強化

① 「事業継続力強化計画（BCP）」の策定、健康経営の推進

- a. 商工会議所の「事業継続力強化計画（BCP）」の策定ならびに認定
- b. 職員モチベーション向上と危機管理能力の育成
- c. 健康経営への積極的な取組ならびに健康経営優良法人の継続的認定
- d. 「ひょうご産業SDGs認証事業」の認証

② 職員の資質向上策の推進と商工会議所が抱える事務局機能の見直し

- a. 職員の資質向上や会員事業所の経営支援、サービス向上のため、日本商工会議所・兵庫県商工会議所連合会・芸術文化観光専門職大学等の研修へ派遣
- b. 商工会議所が担っている各種団体の事務局業務の見直し
- c. 管理職のマネジメント能力の向上と職員担当業務の適正化
- d. DX化やペーパーレス化等の業務効率化への取組
- e. 他経済団体との適正な役割分担の推進

③ 財政基盤の確立と組織率向上策の実践

- a. 年間を通じた共済加入へつなげる取組と新規会員を対象とした会議所共済加入推進月間の実施
- b. 簿記検定団体試験の周知・奨励を推進
- c. 会員事業所のニーズを踏まえた会員限定サービスの充実による組織率向上
- d. 新たな収入源の開拓・検討

VI. 検証・評価

中期行動計画を実効性のあるものとするために、本計画の進捗確認を定期的を実施することが不可欠であり、計画終了時点はもとより、計画期間中においても、「IV. アクションプランで達成すべき主要な評価指数」をもとに、必要に応じて本計画の検証、現状や問題点などの整理・把握を行い、関連する事業内容の見直しや改善に努めます。

豊岡商工会議所 中期行動計画

令和6年3月

豊岡商工会議所

〒668-0041 兵庫県豊岡市大磯町1-79

TEL 0796 (22) 4456 FAX 0796 (24) 3180

E-mail: toyooka@storkcci.jp